

令和元年矢巾町議会定例会6月会議

一般質問議員と質問事項一覧表

受付番号	質問議員	質問事項	答弁者
1	5番 村松 信一	1. 高橋町長の政策について	町 長
		2. エン(縁)ジョイやはばネットワークについて	町 長
		3. 人口増加に対応したまちづくりへの取組みについて	町 長
2	10番 昆 秀一	1. 共生社会の形成について	町長・教育長
		2. 学校教育の課題解決に向けた取組みを	教育長
		3. これまでの地域包括ケアの課題と今後の対策は	町 長
		4. 町広報業務のさらなる推進を	町 長
		5. 交通安全対策について	町 長
		6. 投票率向上の取組みは	教育長・ 選挙管理委員会委員長
3	4番 谷上 知子	1. 永代供養墓「合葬墓」と墓地公園の整備について	町 長
		2. 通学路の安全対策について	町 長
4	9番 赤丸 秀雄	1. 高齢者が楽しく生き生き暮らす町の取組みについて	町 長
		2. 統一地方選挙の結果と今後の取組みについて	町長・ 選挙管理委員会委員長
		3. デマンド型交通の運行状況について	町 長
5	17番 高橋 七郎	1. 矢巾町西部地区の活性化等について	町 長
		2. 町道整備事業について	町 長
		3. 第19回統一地方選挙について	選挙管理委員会委員長
6	3番 小笠原 佳子	1. 公共交通機関について	町 長
		2. 31年度町長施政方針について	町 長
7	14番 小川 文子	1. 町営住宅について	町 長
		2. デマンドタクシーについて	町 長
		3. 保育環境について	町 長
8	6番 廣田 清実	1. 歩道整備による安全確保について	町 長
		2. 住宅地確保の見通しについて	町 長
		3. 屋内運動施設の活用について	町 長
9	7番 高橋 安子	1. 空き家対策について	町 長
		2. 子どもや高齢者の交通安全について	町長・教育長
		3. 旧町民センター食堂の利活用について	町 長
10	15番 山崎 道夫	1. 第7次矢巾町総合計画前期基本計画最終年度の取組みについて	町 長
		2. 岩手医科大学附属病院総合移転に伴う交通対策について	町 長
		3. 学校及び教師が担う業務の明確化と適正化について	教育長
11	13番 川村 よし子	1. 国民健康保険制度について	町 長
		2. 学校給食費の無料化について	教育長
		3. 住民サービスを支える職員配置について	町 長
12	11番 藤原 梅昭	1. 平成31年度「施政方針」について	町 長
		2. 「教育環境」への取組みについて	教育長
		3. 「過去の一般質問」の取組状況について	町 長
計	12名 37件	【一般質問実施日】 令和元年6月6日(木)午前10時 ※受付No. 1～4 令和元年6月7日(金)午前10時 ※受付No. 5～8 令和元年6月10日(月)午前10時 ※受付No. 9～12	町 長 31件 教育長 7件 選挙管理委員会 委員長 3件

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>1</u>	令和元年5月22日	午前・ 午後 9時00分
議席番号 <u>5</u> 番	村松 信 一	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 高橋町長の政策について (答弁者) 町長</p> <p>高橋町長は、平成31年4月の町長選挙において12の政策を掲げ、町民の皆さんと共に生きる「草の根型」のまちづくりを目指し当選されました。 町長の政策について、以下お伺いします。</p> <p>① 子育て支援と教育環境の充実について、保育所や放課後児童クラブなどの充実を図るとしているが、認定こども園へ移行する予定の保育園はどこか。 小規模保育所の設置について、認可外保育所からの移行や新たな小規模保育所の設置を考えているのか。 これらの子育て支援の強化は、需要と供給のバランスをどのように捉えての計画か。また、放課後児童クラブの現在の状況に対し、どのような充実を図るのか。</p> <p>② 社会環境の変化に対応するため、地域コミュニティの充実を掲げているが、コミュニティ機能向上のための組織の拡充と、自治公民館の利用、利便性の充実に対する具体的施策は何か。</p> <p>③ 若者や女性の働く場の充実に向けた企業誘致等を積極的に進め、企業をていねいにサポートする仕組みを作るとあるが、どのように進めるのか。</p> <p>④ 農商工の振興と地域活性化について、持続可能な農業構造の再編とはどのような構想か。</p>

また、生産・加工・流通・販売連携の6次産業をさらに推進し「矢巾ブランド」を全国に発信するとある。今まで各種商品化に取り組んできたが、その結果を検証し改善していく必要があるのではないか。

- ⑤ ゴミの減量化、省エネ対策など環境健全化の推進として、各行政区では資源の分別や資源化に積極的に取り組んでいるが、事業系のゴミの減量化対策の施策は何か。
- ⑥ 地域の防災力向上について、防災士養成講座は消防関係者以外の地域や企業等にも受講を働きかけてはどうか。また、防災介助士の資格も合わせて検討してはどうか。
- ⑦ 全天候型ドーム設置に対する熱意は理解できるが、現在保有している老朽化の進む体育施設の補修や更新について、公共施設等総合管理計画の中で十分に検討しているか。
- ⑧ 活力ある地域づくりとして、おもてなしや防災の拠点としての機能等を備えた道の駅を整備するとある。その方向性を示すため、設置検討委員会といった組織を立ち上げる考えはあるか。
- ⑨ 行政改革の推進のため、テーマ毎の町政懇談会を開催するとあるが、今後予定される懇談会のテーマは事前に示されるのか。また、テーマはどのように決めるのか。さらには、町政懇談会の内容をどのような形で町政運営に反映させていくのか。
- ⑩ 景観や歴史的遺産の保全と活用を推進するとあるが、徳丹城以外の歴史的遺産とは何か。

以上、10点についてお伺いします。

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) エン (縁) ジョイやはばネットワークについて (答 弁 者) 町 長</p> <p>エン (縁) ジョイやはばネットワークの取組みについて、 以下お伺いします。</p> <p>① 今まで行ってきた、介護予防のためのシルバーリハビリ 体操を行う「通いの場体操クラブ」や、社会福祉協議会の 事業である「こびりっこサロン」とのすみ分けはどのよう になるのか。</p> <p>② エン (縁) ジョイやはばネットワークに取組むことにな った経緯は何か。</p> <p>③ 活動を進めていく上で、現時点での課題は何か。</p> <p>④ 地区組織への補助金について、今後さらに充実させる考 えはあるか。</p> <p>⑤ 地区公民館を拠点とした活動が基本となっているよう だが、公民館以外の活動など例外適用の考えはあるか。</p> <p>⑥ エン (縁) ジョイやはばネットワークの現在の取組み状 況はどうなっているのか。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 人口増加に対応したまちづくりへの取組みにつ いて (答 弁 者) 町 長</p> <p>本年 9 月の岩手医科大学附属病院の総合移転に伴う交流 人口の増加や、第 7 次矢巾町総合計画で目指す将来人口 3 万 人に対応したまちづくりへの取組みが急務であります。</p> <p>遊休資産の活用や地区計画制度などの検討は、いつどのよ うな方法で行われるかお伺いします。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>2</u>	令和元年5月22日	午前・ 午後 9 時00分
議席番号 <u>10</u> 番	昆 秀 一	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 共生社会の形成について (答弁者) 町長、教育長</p> <p>障がいがある、ないにかかわらず、女性も男性も、お年寄りも若い人もすべての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会が共生社会であり、これをみんなで作っていかねばなりません。このことを念頭に、以下お伺いいたします。</p> <p>① 障害者権利条約の内容の理解をさらに進めていくべきと考えるがいかがか。</p> <p>② 現在のインクルーシブ教育の浸透度と今後の進め方は。</p> <p>③ 障がいをお持ちの当事者からの声をどう聴取し、生かしているのか。</p>
質問2	<p>(質問事項) 学校教育の課題解決に向けた取り組みを (答弁者) 教育長</p> <p>ここ最近、新しい時代の学校教育のカタチについて提言され、注目を浴びています。そこで、本町の学校教育について今までの当たり前を見直してみる必要性を感じるところから、以下お伺いいたします。</p> <p>① 現在の学校教育の問題点についての見解は。</p>

	<p>② 学校教育の今までの当たり前を見直しする考えは。</p> <p>③ 新しい学校教育の創造についての考え方は。</p>
質問3	<p>(質問事項) これまでの地域包括ケアの課題と今後の対策は (答弁者) 町長</p> <p>現在、2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるように、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を推進しています。そこで、この地域包括ケアシステムについて、以下お伺いたします。</p> <p>① 介護する家族に対する支援の課題について見解は。 ② 今後の多元的な社会に対応する方策は。 ③ 行政のプラットフォーム・ビルダーとしての役割と行政サービスの質向上の考え方は。</p>
質問4	<p>(質問事項) 町広報業務のさらなる推進を (答弁者) 町長</p> <p>行政の広報は、誰にでも分かりやすく伝えることが基本です。その伝え方にはいろいろな方法があり、各種使い分けていく必要があります。ところが、この伝え方を誤ると一方通行になってしまうことも考えられるところから、以下町の広報業務についてお伺いたします。</p> <p>① 5月号の広報やはば紙面リニューアルの考え方は。 ② やはラヂ！聴取率とリスナーの反応、今後の方向性は。 ③ 町ホームページ閲覧数の推移とその捉え方は。 ④ 町ツイッター・フェイスブック・インスタグラム・YouTubeなどインターネットツール別の利用の考え方は。 ⑤ わたまるメールの受信者数の推移と今後の考えは。</p>

<p>質問 5</p>	<p>(質問事項) 交通安全対策について (答 弁 者) 町 長</p> <p>最近、全国的に痛ましい交通事故が続いています。そこで、本町においてもさらなる交通安全対策が必要になりますところから、以下お伺いいたします。</p> <p>① さらに交通安全に対する技術やマナー等の啓蒙の推進をどう図っていくべきと考えているのか。 ② 高齢者ドライバーへの安全運転などの支援策は。 ③ 危険個所の整備を早急にすべきと考えるが、その進め方についての見通しは。</p>
<p>質問 6</p>	<p>(質問事項) 投票率向上の取り組みは (答 弁 者) 教育長、選挙管理委員会委員長</p> <p>先頃行われた町議会議員選挙の投票率は54.62%となり、有権者の政治離れが顕著に表れる結果となりました。このことを真摯に受け止める必要があり、今後の対策をすべきであるところから、以下お伺いいたします。</p> <p>① 今回の町議会議員選挙の投票率をどのように受け止め分析しているのか。 ② 今後行われる、県知事・県議会議員選挙、参議院議員選挙に対する方策は。 ③ 役場以外の場所への期日前投票所設置の検討は、どのようになっているか。 ④ これからの投票率向上の取り組み、特に若年層の投票率向上についての見解は。 ⑤ 今後、さらに教育において選挙に関心が持てるような方策の必要性についての見解は。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>3</u>	令和元年5月22日	午前・ 午後 9時10分
議席番号 <u>4</u> 番	谷上知子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 永代供養墓「合葬墓」と墓地公園の整備について (答弁者) 町長</p> <p>近年、少子高齢化や核家族化が進む中で、墓地を取り巻く社会環境が変化してきました。継承等の不安なく、安心して墓地を求めることができるように、1つのお墓に合同で埋葬する新しい形式の格安な永代供養墓「合葬墓」の整備を提案いたします。さらには、町民の憩いの場、安らぎの場となるように、墓地公園を整備できればよいと考えます。</p> <p>宗教に関わらずどなたでも利用できる格安な町営の永代供養墓「合葬墓」と墓地公園の整備について、町の考えを伺います。</p>
質問2	<p>(質問事項) 通学路の安全対策について (答弁者) 町長</p> <p>矢巾東小学校から煙山小学校へ向かう町道は、両小学校と矢巾北中学校の通学路となっております。</p> <p>歩道は片側のみで対面通行となっており、登校時は自転車通学の中学生と徒歩通学の小学生がぶつかり合いそうな危険な状態です。さらには、通勤時間とも重なり通行車両が多く、より危険を感じております。</p> <p>通学路の安全対策として、道路の両側への歩道整備が早急に必要と思われるが、町の考えを伺います。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>4</u>	令和元年5月22日	午前・ 午後 9 時15分
議席番号 <u>9</u> 番	赤丸秀雄	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 高齢者が楽しく生き生き暮らす町の取り組みについて (答弁者) 町長</p> <p>人生100年時代に向け高齢者が健康で長生きし、生き生きと暮らす社会が求められている現代、町の取り組み内容について以下伺う。</p> <p>① 『エン(縁)ジョイやはばネットワーク』を今年度新たな施策としていますが、各行政区の取り組み状況や相談件数はどのようになっているか伺う。</p> <p>② 今年の敬老会開催の日程と開催場所を伺う。また、昨年開催したことを踏まえ、改善する点を伺う。</p> <p>③ 町が主体となって開催される夏祭りは、年配者が特に楽しみにしています。今年は7月27日(土)に開催予定であるが、どのような形で継続開催を考えているか伺う。</p> <p>④ ゴミ出しや雪かき、買い物をするのに苦慮している高齢者世帯が、町内にはどの程度の方がいるか伺う。</p> <p>⑤ 生き生き暮らすには健康管理も重要であり、健診案内を送付して回答のない町民へのフォローは、どのようにされているか伺う。</p>

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 統一地方選挙の結果と今後の取り組みについて (答 弁 者) 町長、選挙管理委員会委員長</p> <p>4月に行われた統一地方選挙について、以下伺う。</p> <p>① 全国的に投票率が低く、当町も町長選挙が無競争となった影響もあり、町議会議員選挙の投票率は54.62%と低いと感じています。町選挙管理委員会では、このことをどのように捉え、また投票率の向上には何が必要であると考えているか伺う。</p> <p>② 投票率が低い中、無効投票が118票あると発表されましたが、その内訳の公表を願う。</p> <p>③ 若い世代の選挙離れが指摘されていますが、18歳から19歳の新選挙権年代の投票率はどうであったか伺う。</p> <p>④ 町長の施政方針に、町民との対話を重視して「まちづくり」を推進するとしております。ぜひ若い世代との懇談を多く組み入れ、若い年代層の町政への関心を引き付ける取り組みを期待したいが、その考えを伺う。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) デマンド型交通の運行状況について (答 弁 者) 町 長</p> <p>町内の公共交通施策の一環として、デマンド型交通の試験運行をスタートしましたが、その状況について以下伺う。</p> <p>① 3月から運行した以降の利用状況はどうであるか。また、当初計画の想定利用者数と支出経費はどうであるか伺う。</p> <p>② 3月から4月にかけて町内5カ所で住民説明会を開催したが、参加者数や年代層、主な要望事項等について伺う。</p> <p>③ 運行の見直し・改善について、1年程度の経過を踏まえてと以前答弁しておりますが、運行している現状で即改善が必要なものはあるか伺う。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 5	令和元年5月22日	午前・ 午後 9時30分
議席番号17番	高橋七郎	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 矢巾町西部地区の活性化等について (答弁者) 町長</p> <p>本町には温泉施設が5カ所ありましたが、4月30日をもって不動温泉百万石が閉館となり、矢巾町国民保養センターの1施設となりました。町西部地区の活性化を図るため、国民保養センターの利便性の向上と、新たな観光スポットについて伺います。</p> <p>① 国民保養センターの1階フロアには休憩室が無く、歩行が困難な方は階段か昇降機を利用しないと2階フロアの休憩室を利用できないといった不便さがあります。不動温泉百万石の料金は高額でしたが、1階フロアに休憩室があり、ゆっくりと過ごすことができました。国民保養センターの1階フロアに、休憩室を設けることはできないか。</p> <p>② 大白沢川上流には秋津神社があり、敷地斜面の下から大量に清泉が湧き出しており、さらに上流部には高さ10メートルの大白沢の滝があります。大自然が創る秘境地として国内外で人気になっていることから、観光スポットとして検討すべきではないか。</p> <p>③ 煙山ひまわりパークの整備計画について、県立産業技術短期大学の学生が研究発表を行い、大変すばらしい計画でありました。本町として、この研究発表をどのように取り入れて行くのか。</p>

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 町道整備事業について (答 弁 者) 町 長</p> <p>今回の統一地方選挙で町内を隈なく街宣して回りました。道路がかなり悪化している路線もあり、また、道路幅が狭く通行困難なところがあったことから、以下伺います。</p> <p>① 経年劣化等により悪化している路線について、どのような計画で整備を進めていく考えか。</p> <p>② 高田第14地割内の道路は、道路幅が狭く不便であり、また国道4号からの出入りも困難な状況となっている。信号機を使用できる町道高田新道線の拡幅、さらには、南側方面へ向かう道路を新設する考えはないか。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 第19回統一地方選挙について (答 弁 者) 選挙管理委員会委員長</p> <p>今回の統一地方選挙は、全国的に町村長選挙、町村議会議員選挙の無投票当選で決まるところが多くありました。無投票当選となった割合は、町村長選挙45.5%、町村議会議員選挙23.3%であり、8町村の議会議員選挙では定数割れとなり、議員のなり手不足がさらに深刻化しています。町村議会議員選挙の立候補者のうち女性は577人であり、比率は12.1%と過去最高であった一方、投票率は低下傾向とも報道されています。以上のことから、選挙全般について伺います。</p> <p>① 本町の議会議員選挙の投票率は、過去最低の54.62%であり、前回2015年の67.52%を12.9ポイント下回った。投票率低下の要因の一つとして、啓発活動の不足が考えられる。今後も選挙が予定されていることから、投票率向上への取り組みについて伺う。</p> <p>② 期日前投票と投票日当日の投票率について、過去と比較</p>

しどのように推移しているのか伺う。また、農村部と都市部の投票率はどのような状況であったか、併せて伺う。

- ③ 選挙ポスターの掲示板について、特に市街地であるが、提供された案内図に周辺の建物や住まいの氏名が無く大変苦労した。掲示板の場所が分かりやすいように改善すべきである。

また、選挙ポスターを貼る際、町内を行ったり来たりすることがないように、掲示板に番号を付け、そのルートを示すなど、歩きやすくなるよう改善すべきでないか。

- ④ 選挙広報の掲載順の決定方法について、くじで決定しているとのことであるが、どのようなくじか。決定方法について具体的に伺う。

- ⑤ 開票の発表について、開票所での配布やインターネットでの配信等、速やかに行われ良かったと思われる。今回はじめて「やはラヂ！」による発表が行われたが、報道による発表について問題点がなかったか伺う。

また、開票作業について、今後より一層速やかにかつ正確に行うため、改善点を伺う。

- ⑥ 立候補の届出用紙には、候補者届出と推薦者届出が混在しており、記入する際とても分かりづらく、改善すべきである。また、選挙広報掲載文の原稿用紙も同様であり、記入する際の説明が不足しているのではないか。

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>6</u>	令和元年5月22日	午前 ・午後 1 時00分
議席番号 <u>3</u> 番	小笠原 佳 子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 公共交通機関について (答弁者) 町 長</p> <p>高齢者が加害者となる交通事故は大きな問題になっていることから、町民にとって使いやすい公共交通システムについて伺う。</p> <p>① デマンドタクシーの利用者の内訳（人数、年代、性別、地区）と、町民の評価について伺う。</p> <p>② デマンドタクシーは、最寄りの乗降場所へ行くことが不便であるとの声があるが、自宅への送迎に変更する計画はないか。</p> <p>③ デマンドタクシーは、午前8時に利用するには前日までに予約が必要となっている。町民から当日予約の要望もあるが、その対応策について伺う。</p> <p>④ さわやか号について、コース設定は良いが、運行本数が少ないという声がある。本数を多くする計画はないか伺う。</p> <p>⑤ 高齢者などの外出を支援するため、移動が困難な方を対象としたタクシーチケット事業に取り組む計画はないか伺う。</p>

質問 2

(質問事項) 31年度町長施政方針について

(答弁者) 町 長

高橋町長の施政方針について伺う。

- ① 災害時に要支援者の支援を速やかに行い、被害の拡大防止に努めるため、災害時避難行動要支援名簿の登録拡大とともに、情報提供作業を円滑に行うためのシステムを導入し、地域の防災力の底上げを図るとあるが、その進捗状況を伺う。
- ② 町内の保育施設5カ所で実施している体調不良児保育事業のほか、紫波町と連携協定を締結している病児保育事業は、平成31年度からは盛岡市とも協定を締結し、医療機関を併設している受入施設の拡大に努めるとあるが、その進捗状況を伺う。

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 7	令和元年5月22日	午前 ・午後 2 時30分
議席番号14番	小川文子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 町営住宅について (答弁者) 町長</p> <p>今年度は町営住宅基本計画を策定する予定となっており、 具体策と合わせ以下伺う。</p> <p>① 居住者の意見を計画に生かすため、アンケートの実施が 必要と考えるがどうか。</p> <p>② 戸建て住宅は、プライバシーが守られることや庭のある 暮らしができることから、今後も存続することが望ましい と考えるがどうか。また、風張住宅のように改修が済めば、 低家賃の魅力もあり、当分の間は存続できるのではない か。</p> <p>③ 単身者用の住宅を確保するため、単身者も入居できるよ う改定できないか。また、民間の住宅を借り上げる方法も あると思うがどうか。現在の状況として、高齢の親族が死 去し、その家族が60歳未満の場合、その家族は退去しなけ ればならないことが問題となっている。</p> <p>④ 集合住宅の建設も必要と考えるが、住み替え時の使用料 の設定に配慮すべきと思うがどうか。</p>

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) デマンドタクシーについて (答 弁 者) 町 長</p> <p>① 現在の利用状況について伺う。 ② 徳田地区の町民から、矢巾温泉に行くのに料金が2千円と高い上に、乗車の申込みが煩雑であると指摘されている。町内を2つのルートに分割したことが問題であり、早急に改善すべきではないか。 ③ 利用者へのアンケートを実施する計画はあるか伺う。 ④ 総務常任委員会が提言した、戸口から戸口への送迎と利用料金の引き下げについて、どのように検討されたか。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 保育環境について (答 弁 者) 町 長</p> <p>幼児教育・保育の一部無償化を図る、改正子ども・子育て支援法の成立による影響と保育園の状況について伺う。</p> <p>① 給食実費化の影響はどうか。 ② 町の負担はどう変わるか。 ③ 認可外保育施設の状況はどうか。 ④ 各保育園の定員と入園者数は。また、待機児童の状況はどうか。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>8</u>	令和元年5月23日	午前・ 午後 9 時00分
議席番号 <u>6</u> 番	廣田清実	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 歩道整備による安全確保について (答弁者) 町長</p> <p>現在、本町では、スマートインターチェンジの開通や岩手医科大学附属病院の開院に伴い、道路整備を進めています。しかしながら、安全安心な町を目指す本町ですが、生活道路や通学路の整備が進んでいないと思われます。そのことから、下記について問う。</p> <p>① 生活道路や通学路について、歩道整備が行われていない危険箇所を把握しているか問う。 ② 生活道路等における今後の歩道整備計画を問う。</p>

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 住宅地確保の見通しについて (答 弁 者) 町 長</p> <p>本年9月の岩手医科大学附属病院の開院に伴い、本町に定住を希望する人々が多く、住宅地の問い合わせが多いと聞いています。そのことから下記について問う。</p> <p>① 以前から言われている75ヘクタールの市街化区域編入について、町が把握している進捗状況を問う。また、市街化区域に編入された場合、住宅地の販売が始まる時期はいつ頃になる見通しか、町の考えを問う。</p> <p>② 市街化区域の矢巾中学校跡地の開発に関する問い合わせはないか。また、町の今後の開発計画はないか問う。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 屋内運動施設の活用について (答 弁 者) 町 長</p> <p>本町では、屋内運動場が少ないと言われており、防災拠点兼ねたドーム型屋内運動場の整備を打ち出している。</p> <p>現在、他市町村では、廃校になった施設やプール等を再利用し活用している例が多く報告されています。本町においても活用できる施設があると思われることから、下記について問う。</p> <p>① 南昌グリーンハイツは、設備の老朽化や原因不明の水漏れのため、プールとしては利用できず閉館している。通年利用できるその他の運動施設として活用できないか、町の考えを問う。</p> <p>② 旧アイワ体育館の活用見通しを問う。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>9</u>	令和元年5月23日	午前・ 午後 10時00分
議席番号 <u>7</u> 番	高橋安子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 空き家対策について (答弁者) 町長</p> <p>全国の空き家数は、昨年10月時点で846万戸、5年前に比べ26万戸増加したことが岩手日報で報じられた。本県の2018年の空き家数は9万3千戸で、5年前の前回調査から1万7千戸増加している。</p> <p>本町でも、今にも倒壊しそうな空き家が目立ってきていると思われるが、空き家対策の取り組みについて以下伺います。</p> <p>① 本町では、平成28年度の空き家実態調査の結果、149件とのことであったが、その後の状況はどうか。また、その内、危険なまま放置されている空き家はどのくらいか。</p> <p>② 所有者が不明となっている建物や土地は、本町にどのくらいあるか。</p> <p>③ 倒壊の危険がある所有者不明の空き家の対応について、どのような対策を考えているか。</p> <p>④ 空き家バンクへの登録はどのくらいあるか。</p> <p>⑤ 所有者が判明しても金銭的な問題や親族等がない場合、町としてどのような対応ができるか。</p>

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 子どもや高齢者の交通安全について (答 弁 者) 町長、教育長</p> <p>この春、全国では、子どもが巻き添えになる痛ましい交通事故が頻発している。</p> <p>本町においても、スマート I C の開通や岩手医科大学附属病院の移転に伴う交流人口の増加により、交通量が増えることが想定され、いつ悲惨な交通事故が起きてもおかしくない状況にあることから、以下伺います。</p> <p>① 保育園等の散歩コースについて、どのように安全確認をしているか。</p> <p>② 保育園等の職員を対象とした交通安全指導は実施しているか。</p> <p>③ 町内の公園について、駐車場等に車止めが設置されていないなど、危険と思われる箇所の調査は実施しているか。</p> <p>④ 児童生徒への交通安全教育の内容は。</p> <p>⑤ 高齢者への交通安全指導は実施しているか。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 旧町民センター食堂の利活用について (答 弁 者) 町 長</p> <p>町民センター食堂が閉鎖してから数年が経つが、現在においても手つかずの状態であり、具体的な利活用の案も出されていない。</p> <p>公民館の予約も困難な状況であり、会議室としても使用可能であった町民センター食堂について、早期の改修が望まれることから、以下伺います。</p> <p>① 今後の利活用について、具体的な構想はあるか。</p> <p>② いつ頃を目途に改修する予定か。</p> <p>③ 改修後、こども食堂や認知症カフェ等の計画はあるか。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 10	令和元年5月23日	午前 ・午後 2 時00分
議席番号15番	山崎道夫	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 第7次矢巾町総合計画前期基本計画最終年度の 取り組みについて (答弁者) 町長</p> <p>高橋町長は、新年度から「未来戦略室」を設置し、持続可能で未来に強いまちづくりを実現する施策を展開するとし、併せて、2020年度開始の第7次総合計画後期基本計画を住民参加のもと策定するとの方針を示しています。</p> <p>今年は、後期基本計画を策定する年度であると同時に、前期基本計画の最終年度の年でもあることから、以下について町長の見解を伺う。</p> <p>① 第6次総合計画の評価、検証、反省などについて、全員協議会での説明では、まちづくりアンケート調査で行ったとしているが、その程度の取り組みでは極めて不十分だと思われる。</p> <p>評価の手法の1つとして内部評価があるが、その評価は実施したのか。実施したとすれば、どのような方法でいつ頃実施したのか。また、その結果はどのようなものだったのか。併せて、町民に対して、どのような形で公表したのか伺う。</p> <p>② 第7次総合計画前期基本計画の内部評価を6月中にまとめるとしているが、7本の柱に沿ってワーキンググループごとに評価や検証等を行うものと理解するが、その手法はどのようなものか。例えば、「重点施策マネジメントシ</p>

ート」等を活用して、年度毎に決算の実績を数値で表すなどの方法と合わせ、「重要業績評価指標（KPI）」についても評価の手法として取り入れるべきと考えるが、見解を示されたい。

③ 7月下旬の総合開発委員会において、前期基本計画の評価を行うとの説明がされたが、議会に対しても、前項で提起した評価の手法で示してもらえば、現況と課題が一目瞭然となり、検証と評価をスムーズに行うことができると思われるが、その見解を伺う。

④ 後期基本計画の策定に当たって、総合開発委員会が原案を作成するとの説明を受けた。それに向けて6月から8月にかけて、フューチャーデザインワークショップを全6回開催し、後期基本計画への提言等を行うとしている。

その際、原案策定の基本となる基本構想の中に、町の懸案事項である、例えば「道の駅構想」や「町営住宅の集合化」、「全天候型ドームの建築構想」などを取り入れたものを提起することになるのか、明らかにされたい。

⑤ 前期基本計画の指標の進捗状況の中で、既に目標値をクリアしたものもあると思われる。残り1年で力を入れて取り組もうとしている計画や事業は、どの程度あるのか、主なものを示されたい。

質問 2

(質問事項) 岩手医科大学附属病院総合移転に伴う交通対策について

(答 弁 者) 町 長

今年9月に岩手医科大学附属病院の総合移転に伴い、入院・外来患者、付き添い・見舞いで約2,700人、教職員と臨時・派遣職員らで約2,600人、関係事業者が約2,500人、学生は約2,000人規模となると予想されております。

受け入れる本町の周辺環境が激変することは容易に想像できますが、町民の期待や不安は交錯している状況にあります。医大開院を目前にして最大の課題は、町内の交通情勢が一変することであると思われれます。それに対して、今後、ど

	<p>のような対策を講じていくかが問われています。</p> <p>周辺の町道や県道を始め、国道4号の矢幅駅入口交差点、矢巾スマートインターチェンジから医大までの町道など、今まで以上の大変な混雑が予想されます。さらには、交通量の増加による交通事故の増加も懸念されます。町内を東西に直線で横断する幹線道路の整備について、検討する時期を迎えていると捉える必要があります。</p> <p>また、病院利用者の目線での「公共交通網」のあり方についても、県や周辺市町と検討しなければならない大きな課題であります。</p> <p>このような状況が4カ月後に迫っていることをしっかりと再認識し、町民の生活に不便や不安、危険が生ずることのないよう、改善に向け、最大限取り組まなければならないと考えます。国道4号盛岡南道路の延伸や徳田橋架け替えに関連する情報も含めて、今後どのような取り組みを進めていく考えなのか明かにされたい。</p>
<p>質問3</p>	<p>(質問事項) 学校及び教師が担う業務の明確化と適正化について (答弁者) 教育長</p> <p>平成31年1月25日付けで中央教育審議会から「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について(答申)」が提出されました。</p> <p>その中において、学校における業務改善の取り組みとして、「教職員間で削減する業務を洗い出す機会を設定」「校長は校内の分担を見直すとともに、自らの権限と責任で学校の伝統として続いているが、必ずしも適切といえない又は本来は家庭や地域社会が担うべき業務を大胆に削減」と提起しています。例として「夏休み期間のプール指導」「勝利至上主義の早朝練習の指導」「内発的な研究意欲がない形式的な研究指定校としての業務」「運動会等の過剰な準備」が挙げられています。</p>

さらには、このような業務を大胆に見直し・削減してこそ、限られた時間を授業の準備に充てることができ、授業の質が高められ、子ども達が次代を切り拓く力を真に育むことにつながると思います。また、学校が持続的に高い成果を上げるためには、このような判断ができる管理職が人事上評価されなければならないと解説しています。

以上のことから、以下伺います。

- ① 本年度の学校公開は、矢巾東小学校で行われるとのことであり、学校公開は、何に基づき、何を目的として行われているのか示されたい。
- ② 学校公開に携わる先生方は、担当者を決めて準備しているのか。また、準備するため、どの程度の時間を費やしているのか。
- ③ 学校公開は先生方の負担になっていると思われるが、授業の準備などに支障をきたしているのではないのか。その点をカバーする手立ては、何か考えているのか。
- ④ 学校における働き方改革が叫ばれている中、学校公開は業務改善の大きな課題となりうる事象であると思われる。中央教育審議会の答申を真摯に受け止め、早期に改善すべきと思うが、所見を伺う。

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 11	令和元年5月24日	午前・ 午後 11時20分
議席番号13番	川村よし子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 国民健康保険制度について (答弁者) 町長</p> <p>① 国民健康保険は、「国民皆保険」の根幹をなす制度ですが、構造的な問題を抱えている。かつては農林水産業や自営業が加入者の7割でしたが、現在は年金生活者など無職と非正規労働者が8割を占めている。国が制度の安定運営のために投入してきた「国庫支出金」の割合は年々下がり、他の協会けんぽや組合健保の加入者に比べて、収入が低いのに保険料が高いという声があるが、町として保険税減免の拡充が必要ではないか。</p> <p>② 宮古市では、今年4月から「子どもの国民健康保険税均等割額の全額減免」を開始しました。命を守る立場から、本町でも均等割額の減免を開始することはできないか。また、実施した場合、経費はどの程度と見込まれるのか。</p>

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 学校給食費の無料化について (答 弁 者) 教育長</p> <p>給食費の無料化について、平成30年12月会議で教育長に質問した経緯があることから、以下2点について伺います。</p> <p>① 栃木県大田原市では、2012年度から学校給食費無料化を実施している。大田原市が発行している「学校給食費無料化の概要」には、「食育推進の必要性と重要性」「未来を担う人材育成」「地域社会の役割」「地産地消の取り組み」について掲載されている。このことについて、教育委員会ではどのように話し合わせ、どのように考えているか。</p> <p>② 県内の市町村においても、学校給食費無料化に向けた取り組みが開始されているが、本町でも取り組む時期ではないか。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 住民サービスを支える職員配置について (答 弁 者) 町 長</p> <p>総務省は、今年1月末に開催された「全国都道府県財政課長・市町村担当課長合同会議」において、まち・ひと・しごと創生事業費について2019年度までは従前どおり、職員数の削減率や地方債残高の削減率を用いて算定することを明らかにしました。職員削減率を競わせたり交付税を奪い合ったりするこの仕組みを廃止し、職員増員の後押しをする財政措置が必要であると考えます。</p> <p>本町の住民サービスを支える職員の配置について、町の考えを伺います。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>12</u>	令和元年5月24日	午前・ 午後 11時30分
議席番号 <u>11</u> 番	藤原梅昭	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 平成31年度「施政方針」について (答弁者) 町長</p> <p>① 第7次総合計画の前期評価と課題について伺う。 ② 「フューチャーデザイン」の手法を活用した自治体の最上位計画とは何か。 ③ 「フューチャーデザイン」と都市計画マスタープラン及び各ビジョン・各プラン等との関連性はどうか伺う。 ④ 持続可能な開発目標 (SDGs) を取り入れた未来都市づくりとは何か。 ⑤ 5月開催の第1回「町民懇談会」の成果と課題を伺う。</p>
質問2	<p>(質問事項) 「教育環境」への取り組みについて (答弁者) 教育長</p> <p>① 全国で問題となっている給食時間が短いことや無理に全部食べさせるような指導について、本町ではどのように対応しているのか伺う。 ② 学校生活の中で「熱中症」への対応をどのようにしているのか伺う。</p>

質問3

(質問事項) 「過去の一般質問」の取組状況について
(答弁者) 町長

- ① 「矢巾町観光ビジョン」作成スケジュール等を伺う。
- ② 「クリーンなまち宣言」をいつどのように行うのか伺う。
- ③ 「スモークフリータウン」への取組・周知について伺う。
- ④ 「クールビズ」の期間拡大をいつから行うか伺う。